

## 1 事業概要

- 延長：L=293m
- 事業内容：W=16.0m (6.0 (9.0) m、歩道3.5m×2)、無電柱化
- 事業費：C=23億円 ■ 事業期間：R4～R10
- 費用対効果：1.3
- 交通量：自動車類 4,322台/12h、歩行者・自転車類 813人/12h

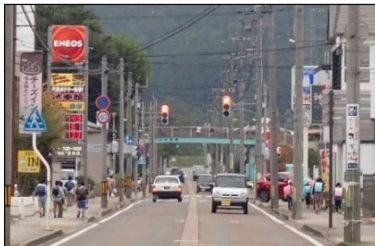


## 2 整備の必要性

- 本路線は国道287号・道の駅から長井小学校を經由し、長井駅・長井市役所、同市が整備中の都市機能誘導施設（子育て・図書館複合施設）に至る都市骨格を形成する道路であるが、未整備となっている。
- 長井市中心部は広く浸水想定区域となっている中、長井市役所が唯一の指定避難所となっており、本路線が水防上の主要な避難ルートで無電柱化が求められている。
- 本工区は長井小学校の通学路に指定されているが、歩道幅員が1.5mと狭く、歩行者の安全確保が課題となっている。



▲現道の通学状況



## 3 令和4年度着手の必要性と整備効果等

- 当該地区においては、平成24年より「長井駅前通りまちづくり協議会」が結成され、組織的に活動が続けており、まちづくりへの機運が高まっている。
- 長井市では、長井駅・長井市役所、子育て・図書館複合施設の整備、公立置賜長井病院の建替等、まちづくり関連の投資を積極的に行っており、この取組みに遅れずに県としても着実に街路整備を進める必要がある。



▲公立置賜長井病院 [事業中]



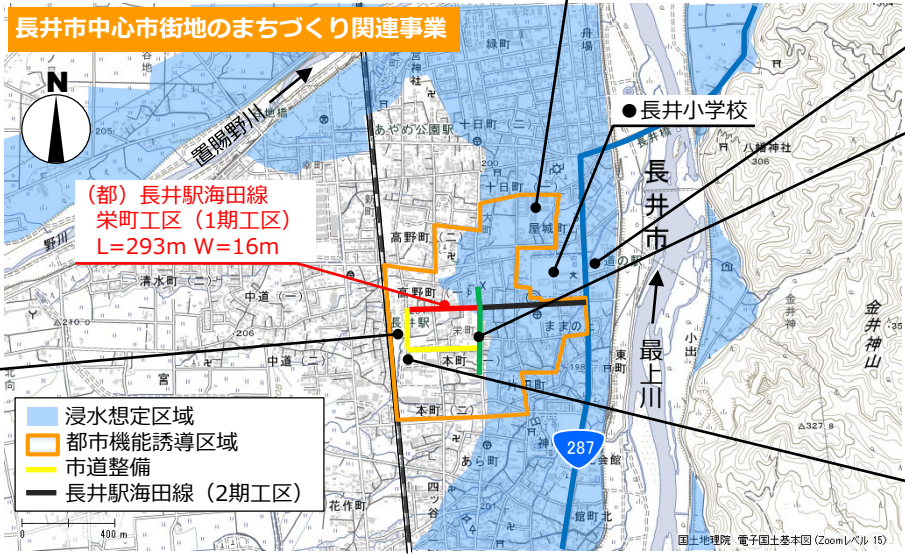
▲道の駅 川のみなと長井



▲桐町成田線街路整備事業（県事業）  
L=390.2m W=16m [H22～R5]



▲長井駅・長井市役所（指定避難所）



▲公共複合施設 [事業中]  
(子育て世代活動支援センター、図書館)

山形県公共事業評価システム 事前評価 妥当性評価調書

I. 事業の概要

(1) 路線・河川名等	長井都市計画道路3・4・1号 長井駅海田線	(7) 事業期間	[着工]	令和 4 年度
(2) 担当課室名	都市計画課		[完了]	令和 10 年度
(3) 対象事業名	街路整備事業	(8) 全体事業費	2,300,000 千円	
(4) 統一事業名	街路事業	(9) 事業区別(補助・単独)	補助事業 <input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input type="checkbox"/>
(5) 総合支庁名	置賜総合支庁(西)	(10) 計画概要・事業の狙い	L=293m W=6.0(9.0)[16.0]m 長井駅・長井市役所から長井小学校を經由し国道287号を結ぶ幹線道路であり、通学路指定の歩道を整備拡幅することにより歩行者の安全を確保し、中心市街地における交通ネットワークの向上を図る。	
(6) 事業箇所	[市町村名] 長井市			
	[地区名] 栄町			

II. 対象事業の妥当性評価

1. 実施主体

(1) 県が実施する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 都市計画法第59条第2項により、県が実施する。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 県道(一般県道長井停車場線)であるので、県で実施することが妥当

2. 費用対効果

(1) 分析対象	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[参考資料名]	国土交通省道路局、都市局「費用便益分析マニュアル」(平成30年2月)	
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[分析対象外とした理由]		
(2) 分析結果	便益(現在価値計):B		2,509,000 千円	
	便益算定に用いた主な指標値	[指標1]	走行時間短縮便益	[指標値] 2,362,000千円
		[指標2]	走行費用縮減便益	[指標値] 132,000千円
		[指標3]	交通事故減少便益	[指標値] 15,000千円
	費用(現在価値計):C		1,881,000 千円	
費用便益比:B/C		1.3		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) B/Cが1.0を超えているため		

3. 環境への影響

(1) 自然環境	① 懸念事項	<input checked="" type="checkbox"/> 懸念事項なし <input type="checkbox"/> 懸念事項あり	(内容を記入) 市街地での現道拡幅であり、自然環境の大きな改変はない。
	② 対処方法	(懸念事項ありの場合、工法・施工方法の工夫等の対処方法を記入)	
(2) 生活環境	① 懸念事項	<input checked="" type="checkbox"/> 懸念事項なし <input type="checkbox"/> 懸念事項あり	(内容を記入) 現道拡幅により車両の走行環境が改善されるため、生活環境への影響(騒音・振動)は減少する。
	② 対処方法	(懸念事項ありの場合、工法・施工方法の工夫等の対処方法を記入)	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 自然環境に大きな改変はなく、生活環境も改善の方向に向かうため	

4. 事業内容

(1) 求められているサービス水準	① サービス水準(現況)	車道幅員6.0m(路肩含7.5m)、歩道幅員3.0m(1.5m×2)
	② サービス水準(実施後)	車道幅員6.0m(路肩含9.0m)、歩道幅員7.0m(3.5m×2)
	③ 当サービス水準の必要性を示す資料	道路構造令、山形県県道の構造の技術的基準等を定める条例
(2) 事業内容(当該案)	① 主な事業内容	街路整備事業(現道拡幅、交差点改良(右折レーン設置))
	② 主な事業内容の位置・ルート	長井市栄町 地内
	③ 主な事業内容の規模	第4種2級 延長L=293m、幅員W=16.0m(車道6.0m(9.0m)、歩道7.0m)
当事業内容(3)が求められる理由	① 代替案の有無と理由	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし (代替案ありの場合はその事業内容を、ない場合はその理由を記入) <input type="checkbox"/> 代替案あり 本路線は長井都市計画決定路線であり、代替案はない。
	② 求められるサービス水準を実現する上で当事業内容が必要となる理由	事業規模の必要性 (代替案がある場合は当該案について代替案と比較しながら説明) 長井駅・長井市役所から国道287号までの未整備区間780mのうち、事業認可期間内に整備完了が見込まれる延長を計上(長井駅・長井市役所から桐町成田線の交差点までの区間293m)。
		その他の事業内容の必要性 (代替案がある場合は当該案について代替案と比較しながら説明) 本路線は長井駅・長井市役所から、桐町成田線と交差し、沿線の長井小学校を經由して国道287号へ至る重要な路線であるが、指定通学路にも関わらず幅員が狭い路線であり、歩行者の安全性の向上が求められている。
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 都市計画決定どりの事業内容であり、現在整備中の桐町成田線とのネットワークが完成するため、整備効果が発現できる。

5. 政策等への貢献

(1) 優先整備の必要性	① 不利益軽減の必要性	<input type="checkbox"/> 必要性なし (内容を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性あり	歩道の拡幅により歩行者、車道の拡幅により自転車の安全が確保される。
	② 事業連携効果発現の可能性	<input type="checkbox"/> 可能性なし (内容を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 可能性あり	長井市が現在実施している中心市街地活性化事業(H28~)や、都市再生整備計画事業(R元~)と連携して整備を行うことで、賑わいと活気あるまちづくりの推進に寄与する。
(2) 総合計画短期アクションプランでの位置づけ	<テーマ・施策・主要事業>	<項目>	(評価の考え方)
	テーマ7 地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成	施策3-4(1)① コンパクトな都市機能を備えた利便性の高いまちづくりの促進	長井市が平成30年度に策定した立地適正化計画における都市機能誘導区域内の都市計画道路の整備であり、当施策に合致する。
(3) やまがた「県土未来図」での位置づけ	<基本目標・施策群>	<施策>	
	基本目標3 地域力を生み出す生活基盤づくり	1. 都市の拠点性向上の推進	歩行空間を整備することで交流人口をまちなかに誘導し、中心市街地活性化基本計画の取組みを支援する都市計画道路の整備であり、当施策に合致する。
(4) 山形県道路中期計画2028での位置づけ	<施策名>		
	施策8 街なかに賑わいを創出するまちづくりの推進		山形県道路の整備に関するプログラムに路線が掲載されている。

6. 総合評価

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 長井市の中心市街地活性化事業や都市再生整備計画事業と一体的に整備を行うことにより、中心市街地の活性化に資することや、都市骨格を形成する都市計画道路の未整備区間が解消されることから妥当であると考えます。
特記事項	<input checked="" type="checkbox"/> 特記事項なし <input type="checkbox"/> 特記事項あり	(内容を記入)